

【事業所向け】 児童発達支援 自己評価表

児童発達支援・放課後等デイサービス アマル

実施期間：2022年2月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか(基準は児童10人に対し職員3名)	○			
	③	療育空間は本児に分かりやすい構造化※された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達への配慮がなされているか。	○			バリアフリーフロアー、階段手すり設置
	④	事業所内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の療育活動に合わせた空間になっているか	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	⑥	保護者向け評価表により、保護者等対して事業所の評価を実施するとともに保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、保護者等の意向を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を改善につなげているか	○			事業所相談支援
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで個別支援計画を作成しているか	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑫	個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「地域支援」で示す支援内容の中から保護者のニーズや子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで個別支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	⑱	支援終了時には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見通しの必要性を判断しているか	○			

(注釈) ※「構造化された環境」とは、この部屋で何をするのか示せるように、タイルカーペットの色をわけたり 棚の配置場所など、お子さまの本人にわかりやすくすることです。

※「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学べることにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とする。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②①	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議の場合は管理者、児童発達支援管理者が担当します
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援をおこなっているか	○			
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当/非該当
	②④	(医療的ケアが子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当/非該当
	②⑤	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			今年はコロナ禍で動画での研修となりました
	②⑥	移動支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	②⑦	移行支援として小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	②⑧	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求めている場合、対応できているか	○			保護者のニーズに合わせて対応して行きたいと思っています
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者のニーズに合わせて対応して行きたいと思っています
	③②	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③③	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び保護者のニーズが反映された支援内容に基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか	○			
	③④	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			コロナ禍の為中止致しました
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月活動プログラム表の配布、連絡帳の明確化
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事(ワークショップ等)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域主催の花壇づくりの参加と手入れ
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			災害・防災対策マニュアルの配布
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等作業等の子どもの状況を確認しているか	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、保健者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応はされているか	○			
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか				該当/非該当

【保護者様向け】 児童発達支援 評価表 集計結果

公表日：令和4年3月31日

利用児童数 7名 回収数 7名 100%

児童発達支援・放課後等デイサービス アマル

実施期間：2022年2月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				
	② 職員の配置数や専門性は適正であるか	100%				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境(※1)になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達に合わせた空間となっているか	100%				
業務改善	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(※2)が作成されているか	100%				
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				
	⑦ 児童発達支援計画書に沿った支援が行われているか	100%				
	⑧ 活動プログラム(※3)が固定化しないよう工夫されているか	100%				
	⑨ 保育園や認定こども園、幼稚園等へ通園(併用して利用)交流、障がいのない子どもと活動する機会があるか	86%			14%	・地域の花壇づくりや催しへの参加で地域交流を図っています

(注釈) ※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置等を本人にわかりやすくすることで。

※2 「児童発達支援」とは、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通して、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させる為の課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項等を記載する計画のことで。これは、児童発達支援センターまたは児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します

※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで。子どもの障がい特性や課題に柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています

※4 「ペアレント・トレーニング」とは、保護者さまの行動を観察して障がい特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学べることにより、お子さまが適切な行動を獲得することを目標とする。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	100%				
	⑫	保護者に対して家族支援(個人面談、電話相談にてペアレント・トレーニング(※4)等)が行われているか	100%				
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況の共通理解ができてきているか	100%				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言などの支援が行われているか	100%				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	14%	14%	29%	43%	・要望は多く頂いていますので、状況や感染対策等に配慮し父母会を開催したいと思います
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	71%		14%	14%	・ホームページに提示していますが年に3回の会報の配布を徹底します
非常時の対応	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	71%		14%	14%	・年に2回以上の緊急時対策訓練を行っています。契約時に緊急時対策マニュアルを用いてご説明します
満足度	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	71%		14%	14%	・緊急時対策マニュアルを配布しております
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	100%				